

織田中学校の現状と課題



1 学校概要①

- 昭和 5 7 年建築、築 3 8 年
- 普通教室 8、特別教室 8、ランチルーム



1 学校概要② 生徒数の推移

年	できごと	学級数	生徒数
昭和 2 2 年	織田村立織田中学校創立	7	2 8 1
昭和 5 7 年	織田中学校、新校舎となる		2 3 7
平成 1 7 年	越前町立織田中学校となる。		1 5 6
平成 2 7 年	5 年前	6 (特 1)	1 2 2
令和 2 年	現在	6 (特 2)	1 1 2
令和 7 年	5 年後	4	9 7

1 学校概要② 令和2年度 生徒・教職員数

令和2年度生徒数一覧

	A 組		計	B 組		計	合計
	男	女		男	女		
1 年	8	1 0	1 8	8	1 0	1 8	3 6
2 年	1 2	8	2 0	1 1	9	2 0	4 0
3 年	1 0	9	1 9	1 0	8	1 8	3 7

教職員数

教員	1 5
講師	1
事務職	1
生活支援員	1
A L T	1

2 学習指導 ～確かな学力の育成～



- ・積極的に学ぶ
- ・友達と学び合う

2 学習指導 ～ふるさと教育推進～

- ・ 地域を学ぶ
- ・ 織田に誇りと愛着をもつ



3 生徒指導 ～豊かな心の育成～

- 生徒会を中心とした、秩序ある集団づくり



3 生徒指導 ～豊かな心の育成～

- ・「ありがとう」の言葉を掛け合う学校
- ・いじめ防止で安心感のある集団



4 部活動



部活動名	夏人数	秋人数
野 球	1 2	7
男子バレーボール	2 4	1 7
女子バレーボール	9	7
卓 球	1 4	1 0
男子ホッケー	1 0	5
女子ホッケー	1 3	8
吹奏楽	1 9	1 3

5 教員の指導力向上

- ・織田地区小中学校で
合同研究会実施



6 学校運営

- (1) スクールプラン達成に向けた取り組み
- (2) 組織的な取り組み
 - ・ 学び方部会
 - ・ 生き方部会
- (3) 中間、年度末に結果と検証

7 保護者および地域との連携

・地域の保育所と交流



・保護者とお茶会を楽しむ



8 少人数のメリット ①生徒にとって

1. 生徒同士が全員を知っている。
2. 全員に活躍の場がある。
3. 親同士のつながりも深い。

8 少人数のメリット ②教職員にとって

1. 全体・全員を把握しやすい。
2. 生徒全員に活躍の場を与えられる。
3. 急な変更が可能。

8 少人数の課題 ①生徒にとって

1. 友達が少なく、クラス替えがないこともある。
2. 部活動の選択が少ない。
3. 合唱コンクールや球技大会等、学級対抗行事の盛り上がりに欠ける。

8 少人数の課題①教職員にとって

1. 1人が担う仕事が多い。
2. 同じ教科担当教員との相談ができない。

歴史と伝統、先人、先輩
方に支えられてきた経緯、

そして現状と未来を見据
えた適切な教育環境整備の
検討が大切と感じます。